

第11号

2020年10月30日 発行

(令和2年)

せいしょうのかい おおぞら かいほう  
青松の会 おおぞら 会報



2020年10月30日

関係者各位

NPO 法人 青松の会理事会

### 理事長交代のおしらせ

日頃、皆様が、社会福祉の充実のため、様々な取り組みをされていることに敬意を表します。

当法人の7月22日(水)・8月26日(水)理事会において、伊藤敏彦(理事長)氏から「ご本人の高齢に伴う体力の低下及び配偶者の介護等」で、これ以上理事長を務める自信がないことが話されました。

そして、9月以降、飯尾堯彦副理事長に引き継ぎたい意向が示されました。

理事会では、これらの状況から辞任はやむを得ないと判断し、急遽、来年の総会まで理事長の交代を承認いたしました。

今後も、残留しました理事一同が協力し合い、利用者・家族会・職員とともに、「おおぞらの運営」を充実させるために微力ですが、努力していきたいと考えています。

そして、皆様におかれましては、くれぐれも新型コロナウイルス感染に気を付けて生活を営み及び各団体の活動を進めて頂きたいと思えます。

これからも、皆様には、色々とお世話になることと思えますが、今まで以上のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## 理事長退任のあいさつ

伊藤敏彦

5年前に三浦理事長の跡を受け継ぎ、皆様のご理解とご協力をいただきながら、なんとか理事長職を務めてまいりました。

24年前、松沢先生の時代のミチル会作業所の旅行のお世話をさせていただいたことがご縁の始まりでした。

全く違う世界にとまどいながら、「青松の会おおぞら」を充実させようとの気持ちで、自分なりに学び、考え、日々過ごしてきました。

何と言っても大変な事業は、中町作業所（中町）からおおぞら（中央町）への移転でした。移転出来た時の利用者の皆さんの喜ばれた顔を思い出します。各関係者のご支援により無事成し遂げられたことが一番の思い出です。

今回、より充実させようを目指した目的を十分に達成できないまま職を辞することとなり、残念な気持ちと申し訳ない気持ちでいっぱいです。

個人的な事情により職を辞することとなりましたが、お世話になりました利用者の皆様、ご家族の皆様、職員の皆様、関係者に皆様には心より感謝申し上げます。

特に、利用者の方々に献身的に接する職員の諸氏には、身内ながら常に感動させられました。

今後の皆様のご健勝と、青松の会おおぞらの発展を心から祈念しております。

## 新理事長就任にあたって

飯尾 堯彦

私は、40年程前、ミチル会作業所に、公的補助金交付申請や報告書等に関する仕事でお邪魔していました。当時、故松沢理事長が、凜として情熱的に作業所を運営しておられ、圧倒させられたことを、昨日のここのように思い出します。

私が以前働いていたすすくのびのび園の卒園児が、中町作業所に数名通所していることを聞いたのは5年前。そして、園の関係者から「NPO 法人青松の会の理事」へのお誘いを受けました。当時の園児たちの顔を思い浮かべながら、何か私にもお役に立てることがあるのではないかと、快く引き受けることにしました。

この間、新施設建設（旧六中跡地）では、資金繰り等の変な大変さを実感するとともに、新しい施設ができたことの喜びを味わうことも出来ました。施設の旅行・開放などの行事に参加し、少しずつ「おおぞら」の大切さを学ばせていただきました。

この度、前理事長が様々な状況から急遽辞任されることになり、心の準備をする間もなく理事長を引き受けることになりました。まだまだ力不足ではありますが、おおぞらがよくなるよう努力してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

家族会・関係者のみなさまには、今後も何かとお世話になるとと思いますが、今まで以上に  
ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

コロナ禍で、それぞれが工夫された日々の様子

(これから寄せられる「一言」は、次号に掲載いたします。)

普通に家の事などをして過ごした。外出も減り、遊びにも出かけられずつまらなかつた。残念です

明石

47も通りでは



お店から、マスク・消毒薬・ハンドペーパー・それから体温計まで無くなってしまいました。手持ちのマスクが、いつ底をつくか心配していた頃に備前のマスクが届きました。どんなに有り難かつたか...にも係わらず、マスクが手に入る様になった頃には、あれこれと批判が多く出はじめて、悲しく思いました。

手洗い・うがい・マスク着用、そして食事中の会話など、馴れてしまえば、自然に気を付けられることです。油断しないで、ずいとうづけていこうね。

石の口

私共若葉荘は5人の利用者が居住して、食事の時間が一変大変です。朝食は一人づつ朝4時半に始めて、終了が7時半頃です。夕食は一人づつ対面にはらず、対面では始まり、6時半頃からは始まり、7時半頃終了する。当上部の育成会の指示により、全員の食事が禁止されています。又、朝の利用者の体温測定も毎日行っています。手洗い・うがいも毎日行っています。共用部分の殺菌も毎日行っています。一番はすかしのが、土、日の利用者の対応です。遊園地に行くのは、お家で過ごすことです。利用者が若干は困っています。

若葉荘 植田 海井

マスクめつたり本よんでます

鎮目真由美

入所後1年経ちやっと慣れたときに巻き込まれたコロナ禍でマラソン大会もなくなり、ヘルパーさんとお出かけもほとんど出来なくなりました。

しょうがないので、母のおまけで家でスポーツクラブのオンラインレッスンでボクササイズをしたり、近所でジョギングを楽しみました。半日作業の間はパズルもしましたが、今はそれほど乗り気では無いようです。やっぱりお仕事の方が楽しいようです。

津久江

〰〰〰〰〰〰〰 【おおぞらの一言】 〰〰〰〰〰〰〰

図書館利用出来なくなり  
タブレットでオセロ、将棋  
電車でゲー、ゲーム、新聞を見て  
ドラマ映画を予約、しぼらくすと  
テレビで番組表で予約、観たり、  
度たりする、ゴロアロ通しました。  
松み奈

コロナがはじめて  
なまったこと  
いつもマヌクも  
あちあちとりに  
よ

コロナ下の生活は午前出勤だけと  
なりました。子供は散歩に連れて  
いくように。徐々に変わった。様子には  
連休には山の家に行くとその後2週間  
自宅謹慎となり。その時も混乱する  
なく家で勉強と仕事とを過ごしていました。  
親戚の在宅勤務という今更経験が  
ない状態を強いられた精神的に苦  
しく感じました。その後勤務が変わり  
仕事内容も変わっていき思えば今の生活  
は比較的暗にならなれたと思えます。(結)  
森本祐子

山田さんはヘルパーさんとお出かけをす  
るのが大好きな方です。浅草や上野、横  
浜等、コロナ禍以前は色々な場所へ足を  
運んでいました。現在は人が沢山集まる  
ような観光地への外出は控えていますが  
、アルコール消毒や換気などを行って  
いただきながら、ヘルパーと一緒にカラオ  
ケを楽しんでいただいています。  
正しい感染予防を行い、できるかぎり休  
日も楽しんで頂けたらと考えています。  
廣グループホーム 菅野啓

お出かけ大好きな家族の私が我慢の  
日々が続いている  
とはいえ多少お出かけの機会も  
マスクは必ず着用。アルコールスプレーも  
持ち歩いていて。今ではどの店先にも  
置いてありませんか。消毒液は自分のものを  
使いたく家族みんなにプシュープシューして  
回している。私としては店先にあるものを  
使いたいとは思いますが。(節約のため!)和F

コロナをきっかけに横ちゃんに  
また趣味が増えました。  
それはマスク作りです。  
最近は何とフェイスシールドまで  
作るようになりました。  
手先の器用な横ちゃん、これから  
工房で用いて下さいね!  
横山 政夫

【おおぞらの一言】

手洗いの時は必ず水もかけます。  
 出かける時は白い手袋177す。  
 227をかわせません。

この日は、いまだに早くから20007  
 不安です。 高橋昌也

コロナによる商業施設も閉まり  
 しまし、水水入し行けず、干草中か  
 らんつへいし、神、7またら、あひつ  
 36へるといり生活をしていきたの  
 ぬり保重とふのしてしまひまいた  
 家でDVDを見ているの及、好きな  
 9、劇と入しく過、7ま中、  
 7またと思ひなり、親もあはうる  
 必要か、悪く又けけり、家、  
 んびりと過、7ました。

畠田純海

僕は午前帰りなので家に着いたら  
 ドアノブをアルコールで消毒します。  
 せけんて早く洗ひ、うがいをし、  
 227を自転車乗りに行きます。帰りは  
 227を消毒し、汗をぬいて、  
 風呂に入ります。  
 私の手洗いでハンカチや手ぬぐいで  
 マスクを作りました。  
 う日は一度の買い物で済みます。  
 生活はかわりません。  
 田中大輔・お

外出自粛により、暮らしの変化が著しい  
 昨今でしたが、悪い事ばかりではなく、  
 お陰様で息子は、消毒、マスク着用もき  
 ちんと定着し、家でも帰宅後、手洗い、  
 うがい、換気を守っています。集団参加  
 出来ないので、zoomで体操、人数制限  
 による調理、ジョギングに参加、散歩、  
 自転車を併用した移動、十分な睡眠、  
 ゆっくり入浴、適度な運動（体力作り）  
 などの良い習慣を大切にして、健康維持、  
 感染症予防に努めています。親は生活の  
 デジタル化をひしひしと実感しています。

平野馬朗

作業所の土曜日として祝日の予定は  
 コロナになる前は一人でバスに乗り、  
 行かずに行き、ひとりで途中の買い物を  
 買って満足して帰る家で昼食を  
 食べています。  
 マスクして着いながら、お父さんと話して  
 大丈夫です。227を  
 10:30頃から出かけます。  
 食料品を買う時手押し車を引いて平気な  
 くれます。  
 出かける時はテレビを本音が聞ける  
 しています。  
 外出を避ければ散歩が出来るにこれ又  
 ありです。

ぼくコロナの時、お家でゆっくり  
 しました。字を書いたりしました。  
 絵を描いたりしました。コロナが  
 終わったら、たんぼぼさんと外出で  
 本屋さんに行きたいです。

丸山颯斗

給いのYコンに打つ孔丸

人図

## 【おおぞら活動紹介】

### 自主製品

≪ ステンシルによる布巾、ハンカチの製作 ≫ ≪ エコバッグ (ろうけつ染め・しぼり染め) ≫  
 ≪ ビーズワーク (ストラップ・ネックレス・プレスレット等) ≫ ≪ 季節の置物作り (干支飾り等) ≫  
 ≪ 木工加工 (キーホルダー・クリスマスツリー等) ≫ ≪ 布製品 (マスク・ブックカバー等) ≫  
 ≪ 紙製品 (カード入れ等) ≫ ≪ 食品加工 (各種ジャム等・ドロップクッキー等) ≫



### 外注作業内容



官 公 需 …… 区立公園清掃2ヶ所・四十雀巣箱作り  
 企業受注 …… 鑑賞魚用エアポンプの部品組立・箱組み立て  
 菓子袋折りと紐通し・飴の各種梱包作業  
 毛糸のサンプルセット作成

………… 企業受注承ります。お問い合わせ下さい …………

### ホームページ

<http://www.seishonokai.or.jp/>  
 又は、「おおぞら」で「検索」してご覧下さい。

### ≪ 青松の会おおぞら職員 ≫

〈所長〉熊谷重信 〈主任〉前田友江 〈支操担当〉土井清志  
 〈支援員〉石原道・加藤由香里・青木紀子・折田稔・戸澤道子  
 綱本敦子 〈事務担当〉梅川百合子・田村美矢子

特定非営利活動法人 青松の会おおぞら

〒152-0001 東京都目黒区中央町2-32-13

TEL : 03-3710-2531

FAX : 03-3710-2540

E-mail : oozora@seishonokai.or.jp

発行人 熊谷重信